

災害時に備えて 応急対策協定を締結

ガスおよび建設土木業界と

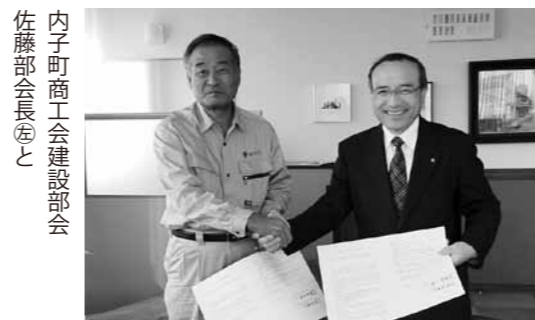
(社)愛媛県LPガス協会
濱田大洲支部長(右)



また10月6日には、内子町商工会建設部会(佐藤史信部会長)と、道路など公共土木施設の被災や浸水への対応、土砂や流木の撤去・搬送などの支援に関して同協定を結びました。

これで内子町は、5つの団体と同協定を締結したことになります。今後も地元団体と協力し、災害に対する取り組みを進めていきます。

内子町は、災害時の応急および復旧対策として、21年度から地元企業や組合と「災害時の応急対策業務の協力に関する協定」を結んでいます。



内子町商工会建設部会
佐藤部会長(右)と

環境政策の推進を目指し 中・四国の自治体が交流

環境首都コンテスト

環境自治体づくりの支援を目的として毎年開かれている「日本の環境首都コンテスト」の中国四国自治体交流会(同コンテスト全国ネットワーク、内子町ほか主催)が10月15〜16日にかけて、内子町内で開かれました。

め3つの自治体が、それぞれの環境への取り組み事例を発表。その成果や課題などについて意見を交換しました。



参加者からの質問票をもとに、活発に意見交流

文化創造センター前に 緑の多い公園を整備

整備計画説明会を開催

文化創造センター前
広場整備平面図

内子文化創造センター(内子自治センター・内子町図書情報館)前の広場整備に関する住民説明会が10月13日、同自治センターで開かれました。

内子町では、7〜8月にかけて、同施設の利用者を対象にアンケート調査を実施。9月10日に開かれた第1回懇談会での意見と市街地整備事業検討委員会での協議を踏まえて整備計画を作成し、参加者に説明しました。

同広場は、年度内の完成を目指して整備が進められる予定です。

日本の四季と文化について意見を
発表した樽岡さん



世界を見つめて 英語で思いを語ろう

内子町中学校英語弁論大会

「第9回内子町中学校英語弁論大会」が9月29日、内子座で開かれ、町内4つの中学校から出場した計10人の生徒が、学校生活や日本文化などをテーマに、英語で意見を発表しました。

1位	The changing of the Seasons in Japanese Culture 樽岡 結(大瀬中学校)
2位	An Equal World for Women and Men 武内 理紗(大瀬中学校)
3位	A Wedding in the Historical Old Street of Uchiko 宮本こはる(内子中学校)

期待と思い出を胸に 新・旧園舎を見学

内子幼稚園

新園舎が完成した内子幼稚園(高松美栄子園長、園児90人)で10月2〜3日、新・旧両園舎の見学会が開かれました。

園児たちは、10月4日から新園舎での生活を始めています。



県産材をふんだんに用いて建設された新園舎を見学

小田深山の自然の中で 一日を過ごそう

小田深山さんの森の日



クイズに答えながら、溪流沿いを散策

小田深山さんは「自然と人の共生」をテーマに内子町山並保全・活用計画を策定し、その実現を目指して「せんの森プロジェクト」を進めています。



昼食は、地域のお母さんたち手作りの「いもたき」